



学校便り 琢磨

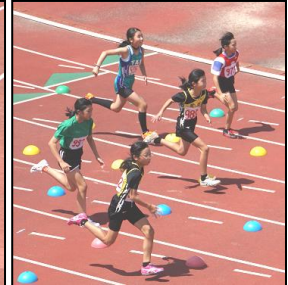
令和5年度 第12号 R5.9.1 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える

8月26日(土)に行われました「第69回三観広域陸上競技選手権大会」の入賞者を紹介します。なお、表彰状の伝達は、本日の始業式の前に行いました。おめでとうございます。(敬称略)

【100m走】

5年男子	5位	15秒66	横下 蓮
5年女子	4位	15秒96	詫間 萌奈
〃	8位	16秒49	大平 惺久
6年男子	8位	14秒95	山下 瑠己翔
6年女子	7位	16秒06	大西 那央



【4×100mリレー】

5年男子	3位	66秒64	横下 蓮、三崎 空蓮、吉田 悠伸、小林 篤到
6年男子	5位	62秒23	舟木 海翔、山下 瑠己翔、森 結斗、小林 蓮

職員の人事異動について

【転入】

- 8月1日付けで、白川 明美(しらかわ あけみ)総括技能員(調理員)が、仁尾町学校給食センターから転入いたしました。よろしくお願いいたします。
- 9月1日付けで、浦野 笑(うらの えみ)講師が、下高瀬小学校から転入いたしました。藤組の担任(香川 夏奈 教諭は、7月末から産休)です。よろしくお願いいたします。

【転出】

- 8月31日をもって、北山 愛子 調理員が、仁尾町学校給食センターに転出しました。5か月という短い期間でしたが、大変お世話になりました。

教育実習について

本日9月1日(金)～9月29日(金)までの4週間、1年竹組に教育実習の先生が来ます。と言っても、毎週火曜日、学校ボランティアに来ている工藤 琴音(くどう ことね)先生ですので、改めてご紹介する必要はないかと思えます。この期間は、教育実習ですので、いつものボランティアとは違い、工藤先生は1年竹組に朝から夕方までいて、教員の仕事の実習をすることになります。

4年ぶりの「たくま港まつり」

8月12日(土)。4年ぶりとなる「たくま港まつり」が開催されました。本校からは1～3年生が「こども総おどり」に参加しました。夕方とはいえ厳しい暑さの中、松崎小学校の子どもたちと一緒に、総勢約200名で夕方の市グラウンド(野球場)で、「サンバうらしま」の踊りを披露しました。子どもたちを囲む数百人の保護者や観客の見守る中で、子どもたちは、一生懸命、そして楽しんで踊っていました。

露店が並び、お祭りの最後には花火が打ち上げられるといった「夏祭り」を満喫することができたのではないのでしょうか。



真鍋校長の独り言 その6

夏休み最後の日

学校の教員は、夏休み中ずっと休んでいると思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんなことはありませんが、夏休み期間中に、1年分の休みをまとめて取るということもありますので、まんざら、嘘ではないとも言えます。

今回は、夏休み中の一般的な教員の勤務について解説いたします。

今年の場合ですと、7月21日～8月31日が「三豊市の小学校の夏休み期間」（ちなみに夏休みの期間は市町村によって違います。）ですので42日間となります。そのうち、土曜日、日曜日、祝日、学校閉庁日（14日、15日）はお休みですので、それが合計15日あります。そして、夏季休暇が5日。いわゆる夏休みですが、そのうち2日は、学校閉庁日に休むために使いますので、実質は3日となります。ここで $42-15-3=24$ で、24日間は勤務というわけです。

夏休み中は、子どもたちが来ていないから（授業がないから）、普段は取りにくい年次休暇、いわゆる有給休暇をできるだけ取るようにしています。目安は5日以上です。人によって違いますが、仮に5日間年次休暇を取ると $24-5=19$ 、つまり夏休み期間中の勤務は、42日のうちの半分以下の19日となるわけです。あくまでも一般的な状況ですので、個人によって違いがありますが、これが、夏休み期間中の教員の勤務状況です。

実は、私が教員になった頃は、土曜日も午前中は毎週授業をしていました。1日8時間勤務の5日間＋土曜日の4時間なので、当然、労働基準法に定められている週の勤務時間を超えてしまうのです。しかし、教員の場合は、夏休みや冬休み等の長期休業中にまとめて休みを取ることが出来ます。はっきりとは覚えていませんが、それが夏休み中に12～13日間（土曜日2回分で1日）くらいあったと思います。つまり、1年間の土曜日の午前中に勤務した分を、夏休みと冬休みにまとめて休むというわけです。ですから、現在よりも、もっと夏休み中に教員は休んでいたわけです。教員によっては、数日しか勤務しないという場合もありましたので、「教員は、夏休み中、ずっと休んでいる！」と思われたことにつながったのではないかと推察いたします。言い訳のようですが、法令の休みに従って休むと、昔は、ほとんど夏休み期間中に勤務することがなかったということなのです。決して教員が夏休みにサボっていたわけではありません。

普段は、なかなか休みを取りにくい仕事ですので、このような夏休みとのギャップが大きいのです。ですから教員のほとんどは（あくまでも私の予想ですが）、8月31日という夏休み最後の日が最も悲しい日であるのではなかと思っています。かつては私も同じでした。妻も教員をしていましたので、8月31日が近づくと、だんだん憂鬱になってきたように思います。9月1日に子どもたちの顔を見たら、そんな思いは一瞬で吹っ飛ぶのですが……。そんな生活を私は38年間（このうち教員でない期間が8年間はありましたが）繰り返してきたわけです。教員ならではの感情といったところでしょうか。管理職（特に校長）になってからは、休みという概念が無くなってしまったので、最近では、こんな感情があまり湧き上がってきませんが……。

逆に、普段は学校に行っている子どもたちが家にいるということですから、保護者の皆様にとって夏休みは大変です。8月31日、夏休み最後の日、「ああ、これで明日から子どもたちが学校に行ってくれる。」と、ほっとしていらっしゃる方も少なくないのではないのでしょうか。

いずれにしても、昨日は、子どもたちにとっても、教員にとっても、保護者の皆様にとっても「夏休み最後の日」だったわけです。いかがお過ごしでしたか？そして、今日から2学期。2学期は、楽しい行事が満載です。気持ちを切り換えて行きましょう。ただ、今年は、今日が金曜日ですので、明日、明後日が土日でお休みです。少しほっとしているのではないのでしょうか？